

Device Resource ReportPack バージョン 3.0

リリースノート



Device Resource ReportPack リリースノート

ご注意

1. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
2. 当社は、本書に関して特定目的の市場性と適合性に対する保証を含む一切の保証をいたしかねます。
3. 当社は、本書の記載事項の誤り、またはマテリアルの提供、性能、使用により発生した直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害または結果損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 本製品パッケージとして提供した本書、CD-ROM などの媒体は本製品用だけにお使いください。プログラムをコピーする場合はバックアップ用だけにしてください。プログラムをそのままの形で、あるいは変更を加えて第三者に販売することは固く禁じられています。

本書には著作権によって保護される内容が含まれています。本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き、禁止されています。

All rights are reserved.

Restricted Rights Legend.

All rights are reserved.No part of this material may copied, reproduced, or translated to another language without the prior written consent of Hewlett-Packard Company.The information contained in this material is subject to change without notice.

Use, duplication or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.227-7013 for DOD agencies, and subparagraphs (c)(1) and (c)(2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights clause at FAR 52.227-19 for other agencies.

HEWLETT-PACKARD COMPANY
United States of America

Copyright Notices.

© Copyright 2004 Hewlett-Packard Company, all rights reserved.

Reproduction, adaptation, or translation of this material without prior written permission is prohibited, except as allowed under the copyright laws of the United States.

商標

Microsoft®、Windows®、MS Windows®、および Windows NT®は、米国 Microsoft Corporation の米国における登録商標です。その他の製品名は、それぞれの商標またはサービスマーク所有者の財産であり、これによって承認されています。

目次

| | |
|---------------------------|-----------|
| 範囲 | 4 |
| 関連ドキュメント..... | 4 |
| パッケージの概要 | 5 |
| 使用上の注意 | 6 |
| パッケージの履歴 | 6 |
| サポート対象の DataPipe..... | 6 |
| このリリースでの機能強化 | 7 |
| 機能強化 | 7 |
| バグ修正 | 7 |
| 既知の問題 | 8 |
| インストールと設定 | 9 |
| 依存関係 | 9 |
| デモパッケージ..... | 9 |
| バージョン 3.0 へのアップグレード | 9 |
| テクニカルサポート | 11 |

範囲

このリリースノートでは、最新の機能強化、バグ修正、および既知の問題について説明しています。このリリースノートでは、以下のユーザーガイドで取り上げているトピック(Device Resource ReportPack を分散アーキテクチャに配布する際に必要となるインストール、準備、および中央サーバーとサテライトサーバーの変更)については説明していません。

関連ドキュメント

- 1) 『Device Resource ReportPack ユーザーガイド』
- 2) 『Common Property Tables Administrator Guide』
- 3) 『Common Property Tables リリースノート』
- 4) 『Device Resource Cisco Router Datapipe Release Statement』
- 5) 『Device Resource Cisco Switch Datapipe Release Statement』
- 6) 『Device Resource HP ProCurve Switch Datapipe Release Statement』
- 7) 『Device Resource Nortel/Bay Router Datapipe Release Statement』

パッケージの概要

Device Resource ReportPack は、さまざまなベンダーのデバイスを管理するための有益な情報を提供します。ベンダー固有の DataPipe は、データを収集するための手段を提供します。いったん TREND によって十分なデータが収集され処理されると、その結果を一連のレポートに表示できるようになります。レポートにはそれぞれ、過去のパフォーマンスと未来のパフォーマンスの予測を示すテーブルやグラフがあります。過去のレポートの時間範囲は、日単位、時間単位、および準リアルタイムを選択できます。予測の時間範囲は、当日から 30 日間、60 日間、および 90 日間を選択できます。

Device Resource ReportPack には次のレポートがあります。

デバイス予測 – 今後 90 日以内に生じると予想されるホットスポットが示されます。項目は、今後 90 日以内に生じると予想される例外の数で順位付けされます。ドリルダウングラフには、30、60、90 日間の出力使用率が表示され、ベースライン期間の実際のパフォーマンス、曜日別の予測、および過去の値と比較されます。

デバイス準リアルタイム(NRT) – 過去 6 時間のデータに基づくパフォーマンスのビューです。これらのレポートは、現在問題が生じているスポットについて警告します。たとえば、CPU またはバッファの使用率が高い状態にある要素について警告します。ドリルダウングラフでは、過去 24 時間における使用率の増減のトレースが示されます。

デバイス例外 – 前日中にパフォーマンスのしきい値を超えた要素を一覧表示します。ホットスポットを正確に特定するのに便利なこのレポートには、例外と QoS を関連付ける、サービスのグレード(GOS)を示すグラフが含まれています。

デバイスクイックビュー/スナップショット – デバイスの詳細を示します。事実だけが必要な場合に便利です。1 日の使用率が最も高いデバイスを示します。ドリルダウングラフには、使用率と頻度分布が示されます。

デバイスのトップテン – 最も使用率の高いデバイスに基づく上位 10 個のデバイスを表示する単純なレポートです。

デバイスサービスレベル – これらのレポートには、デバイスレベルでの可用性と SNMP 応答時間が表示されます。

カスタムおよび場所サマリー – カスタム単位または場所単位のパフォーマンスのサマリー(要約)に基づく、ネットワークのビューです。上級管理職向けに設計されているこれらのレポートには、1 人のカスタムに所属する、または 1 つの地域内にある、すべてのデバイスのパフォーマンスが集計されます。選択テーブル内のエントリをドリルダウンすることにより、CPU、バッファ、メモリの各使用率、および QoS を詳細に確認できます。

カスタムおよび場所予測 – カスタム単位または場所単位のパフォーマンスのサマリー(要約)に基づく、ネットワークのビューです。これらのレポートでは、カスタムのネットワークにあるすべてのデバイスに基づく、CPU、バッファ、メモリの各使用率の予測が示されます。

カスタムおよび場所のトップテン – CPU、メモリ、バッファの各使用率に基づく上位 10 個のカスタムを表示するトップテンレポートです。

使用上の注意

プロパティの準備の必要条件については、『*Common Property Tables Administrator Guide*』を参照してください。この ReportPack を分散アーキテクチャに配布する際に必要となる、中央サーバーおよびサテライトサーバーの変更については、『*Device Resource ReportPack ユーザーガイド*』を参照してください。

パッケージの履歴

| バージョン | 変更の概要 |
|-------|---------------------------|
| 1.0 | 初回リリース。 |
| 1.1 | OVPI 4.5 に対応した 2 回目のリリース。 |
| 2.0 | OVPI 4.6 に対応した 2 回目のリリース。 |
| 3.0 | OVPI 5.0 のサポート。 |

サポート対象の DataPipe

Device Resource ReportPack は次の DataPipe でサポートされています。

- Device Resource Cisco Router Datapipe
- Device Resource Cisco Switch Datapipe
- Device Resource HP ProCurve Switch Datapipe
- Device Resource Nortel/Bay Router Datapipe
- Device Resource Extreme Devices
- Device Resource Foundry Devices
- Device Resource 3Com Devices
- Device Resource Alcatel/Xylan Device
- Device Resource Enterasys Router
- Device Resource Enterasys Switch

このリリースでの機能強化**機能強化**

Device Resource Report Packバージョン3.0では、OVPI 5.0のOracle機能がサポートされています。

バグ修正

| バージョン番号 | バグ番号 | 説明 |
|---------|------|----|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

既知の問題

1. Oracle のデバイスリソースのトップテンレポートで、バッファまたはメモリーの使用率のトップテンレポートに NULL 値が表示されることがありました。これは、Oracle のソートにおける NULL 値の処理方法が原因でした。このレポートにはパッチが適用される予定です。パッチの提供が可能になり次第、
http://support.openview.hp.com/cpe/ovpirp/patch_ovpi_report_solutions.js からダウンロードできます。
2. 「ROSmm35638 - Attempt to insert duplicate key row in object 'dsi_category_instance'.」これは警告メッセージであり、無視しても問題ありません。

インストールと設定

『Device Resource ReportPack ユーザーガイド』では、インストール、設定、および準備の手順について説明しています。

依存関係

Device Resource ReportPack には次の 3 つの前提条件があります。

- OVPI 5.0
- Common Property Tables 3.0
- 少なくとも 1 つのベンダー固有 DataPipe

Device Resource ReportPack を別にインストールするか、または Common Property Tables、Device Resource ReportPack、および少なくとも 1 つのベンダー固有 DataPipe を同時にインストールすることもできます。複数のパッケージを同時にインストールする場合は、必ず各パッケージの圧縮配布ファイルを DPIPE_HOME/packages ディレクトリに展開してから、パッケージマネージャを実行してください。

デモパッケージ

TREND パッケージにはいくつかのインストール可能なオプションが含まれている場合があります。これらはそれぞれ、親の ReportPack ディレクトリ配下の別の「.ap」ディレクトリに格納されています。以下はディレクトリの例です。

- *DeviceResource.ap* – 運用版の ReportPack
- *DeviceResource_Demo.ap* – デモ版の ReportPack

パッケージのインストール中、運用パッケージに加えデモパッケージをインストールするオプションを選択できます。デモパッケージ内のレポートは対話形式で、テーブルはグラフにホットリンクされているため、個々のテーブルやグラフのさまざまな表示方法を試すことができます。デモレポートのデータは静的なものであり、時間が経過しても変更はされません。

バージョン 3.0 へのアップグレード

Device Resource Report Pack の古いバージョンを実行している場合は、*UPGRADE_DeviceResource_to_3.0* パッケージをインストールして、*Device Resource 3.0* にアップグレードすることができます。次の規則を覚えておいてください。

- *Device Resource 3.0* は OVPI 5.0 でのみサポートされています。したがって、OVPI をあらかじめ 4.6 から 5.0 にアップグレードしておかないと *Device Resource 3.0* にアップグレードすることができません。

- アップグレードパッケージのインストール中、[OVPI レポートの配布]オプションを有効のままにするか、または無効にするかを選択します。*Device Resource 3.0* 内のレポートとフォームは、デフォルトを受け入れない限り配布されません。このため、必ずデフォルトを受け入れてください。
- 分散システムの場合は、*Device Resource* の古いバージョンを実行しているすべての OVPI サーバーに、アップグレードパッケージをインストールしてください。

テクニカルサポート

次の HP OpenView の Web サイトを参照してください。

<http://openview.hp.com/> (英語)

<http://www.hp.com/jp/openview/> (日本語)

このサイトには、HP の提供する製品、サービス、サポートについてのお問い合わせ先や詳細が掲載されています。[サポート]をクリックすると HP OpenView のサポートページに移動します。このページから次の情報を参照できます。

- ダウンロード可能なマニュアル
- トラブルシューティング
- ソフトウェアパッチ
- 問題報告
- トレーニング
- サポートニュース